

# 支援だより



今回の支援だよりでは、「進路学習」「進路指導」「保護者学習会」「現場実習」「進路先見学会」「テレワーク学習会」「副籍交流」についてお知らせします。

気になる情報等がありましたら、担任を通して、支援部までお気軽にお問い合わせください。

## 1 進路学習について（御報告）

### 小学部5年「作業学習体験」



進路学習として、10月に中高B学習グループで取り組んでいる、「図書デリバリー」の授業を見学してきました。教室の中は、「仕事」という緊張感のある空気で、自分たちがいつも勉強している教室の様子とは異なるものでした。5年生のみんなは、いつもとは違う雰囲気、ドキドキしたような様子で、おしゃべりをすることなく、真剣な表情で話を聞いたり、先輩が作業をする姿を見学したりしていました。

## 2 進路指導について（御報告）

### 中学部・高等部

中学部では、次年度中学生になる小学部6年生を、高等部では高校生になる中学部3年生を対象に授業体験を行っています。ねらいは、「進学する学部の様子を知り、普段とは異なる学部の教職員や新たな環境での学習を体験する」「卒業後の進路について、意識を高める」の2点です。

10月20日、21日に中学部3年生（C学習グループ生徒）は高等部C学習グループの授業、生活単元学習「日本の伝統文化について知ろう～とんとん相撲をやってみよう～」を体験しました。小学部6年生（C学習グループ）は11月11日に中学部C学習グループの美術「ランプシェードの制作」を体験しました。12月3日には中・高B学習グループの職業・家庭の授業「清潔・不潔」に、小学部6年生（B学習グループ）が参加し、実際にタオルを用いて清掃活動を行いました。

今回の体験を、小学部6年生は2月の入学準備説明会に繋げていきます。中学部3年生は、11月下旬に願書配布説明会、願書提出、1月の入学相談へと進んでいきます。児童・生徒の成長に合わせ、節目ごとに実態に合わせた進路指導を行っています。



### 3 保護者学習会について

令和3年11月4日(木)に、『家庭で行う「キャリア教育」～卒業後も自分らしく生活するために～』というテーマで、学習会を行いました。講師は、「明治学院大学 心理学部 教育発達学科 特命教授」「東京都教育委員会就労支援アドバイザー」として東京都内外で精力的に活動されている若杉哲文先生をお呼びしました。



#### (1) キャリア教育とは

児童生徒のより自立的で主体的な生活態度や肯定的な自己理解を育てていくことがキャリアである。キャリア教育は、家族、地域、学校の働きかけが協働することによってよりよく実現されると考えられる。働くことは、いろんな集団の中で楽しさを共有することと幅広くとらえる。

#### (2) 家庭で行うキャリア教育

- 家族やクラスの役割を果たし、褒められたり感謝されたりする。(自己肯定感や責任感の育成)
- 経験不足を少なくする。(公共交通機関の利用や電話のかけ方等)
- コミュニケーション力の育成(挨拶(言葉や態度・表情)、報・連・相、困ったときにヘルプが伝えられる)
- 最後までやり抜く力の育成(全力で挑戦する経験や失敗から学ぶ経験)
- 褒めるときに「勇気付ける」言葉を付け加える。「褒める」ことはその場限りの満足感を刺激するのに対し、「勇気付ける」ことは自分の成長に意識が向かい、自立心と責任感が育まれる。

褒める…「偉いね」「よくやった」「頑張ったね」「やればできるじゃない」

勇気付ける…「私も嬉しいよ」「努力が実ったね」「あなたのサポートで助かったよ」「ありがとう」

#### (3) 意見交換会(参加された保護者の方より)

○我が子にとって「キャリア」は程遠いことだと思っていた。きちんと日常生活を過ごすことがキャリアということだと聞き、目から鱗だった。心が軽くなった。意思疎通がしたいと思い、同じ言葉を何回もかけるようにしている。これからもずっと続けていこうと思った。

○我が子は生活介護に行くと思っている。そんな我が子に何ができるの?と思いながら参加した。普段やっていることは「これしかできないの?」と思っていたが、それが力になることを知った。「えらい!すごい!」を伝え勇気付けをしたいと思う。

○我が子の着替えの際、よくできたねと褒めるが反応が薄い。協力してくれたのかどうか分かりづらい。わが子の協力動作が分かるような目を養うのはどうしたらいいか?

【若杉先生より】お母さんが「今日がうまくいった」と感じたときに協力してくれたと思う。「着替えを協力してくれてありがとう」を伝えてください。そうやって母がうまくいったことを、本人に伝えてください。

#### (4) 最後に(保護者の方々の発言を受けて若杉先生より)

肢体不自由がある子どもたちにとって、買い物や散歩等で外に出たり様々な物に触れたりして、いろんな音や匂い、感触を体験することは自己理解につながります。そのためにもどんな福祉サービスがあるのかを知り、学校にいるときから使い、QOLを高めておきましょう。支援計画を見直して、先を見通すことが大切です。



次項に、第3回保護者学習会のお知らせを掲載しております!!



第3回保護者学習会を次の日時で予定しております。1月上旬に申込用紙を配布いたします。

今年度最後の学習会です。今回は、葛飾区障害福祉課の方に御来校いただき、葛飾区の福祉サービスや障害基礎年金、成年後見人などの制度についてお話いただきます。お子さんの現在から将来にかけてとても重要な制度です。御参加お待ちしております。

○日時：令和4年1月28日（金） 午前中

○テーマ：知ろう、使おう、葛飾区の福祉 ～現在から将来に向けて～

○講師：葛飾区福祉部障害福祉課の方

※小学部から高等部2年生までの方が対象です。



#### 4 現場実習について（御報告）

##### キャリアメンタリング

キャリアメンタリングとは、企業が社会貢献の一環として社会人のマナーや面接のやり方などを、生徒に指導していただけるプログラムです。11月9日（火）に高等部2年生の準ずる教育課程の生徒を対象に実施しました。通話会議室システムを利用しての実施でした。企業の社員の方からは面接の時の目線や話す内容など、具体的なアドバイスを多くいただきました。

今回のキャリアメンタリングプログラムで学習した内容を普段の学校生活の中でも生かしていこうと思います。



#### 5 進路先見学会について

11月18日（木）に「よつぎ療育園」（生活介護）へ見学に行ってきました。所在地は葛飾区東四つ木4-4-101になります。1名の生徒とその保護者の方に御参加いただきました。

よつぎ療育園には、重い障害のため地域の通園施設等で受け入れ困難な方が対象の通所事業があります。幼児（学齢期前）の方が通う児童発達支援と成人（18歳以上）の方が通う生活介護があります。

生活介護では、現在20名の方が在籍しています。送迎バスが5台あり、葛飾区内外の方の送迎を実施しています。





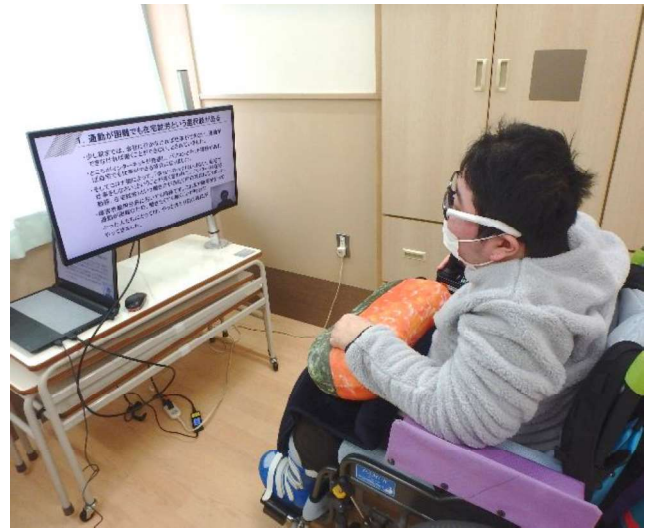
## 6 テレワーク学習会について（御報告）

12月14日（火）に高等部3年生知的代替の生徒、高等部1、2年生準する教育課程の生徒を対象にテレワーク学習会を実施しました。

テレワーク学習会とは、就労支援機関および在宅就労当事者による講義を受け、生徒や保護者が今後の進路を考える上で参考にしていくことを目的としております。毎年行っている取り組みで、今年度は動画配信という形での実施となりました。

講師はリモートワークによる重度障害者の在宅雇用のコンサルティングをされている方と、実際に在宅就労をされている当事者の2名でした。講義を通して、在宅就労に必要な社会性やパソコンスキル、実際に働いている様子などを知ることができました。

当日参加できなかった生徒は、別日や家庭での動画視聴にて参加しました。今回のテレワーク学習会で学んだことを今後の進路学習の中でも生かしていきたいと思っております。



## 7 副籍交流について

緊急事態宣言等の影響で、地域指定校との交流を行うにあたっての顔合わせ・打合せや、直接交流が長く延期されてきました。10月より、感染症対策を行いながら、打ち合わせや交流が始まっています。

今年度の地域指定校は小学校が17校、中学校が2校です。そのうち、直接交流を行っているのは、小学校9校13名、中学校2校2名です。

現在予定されている交流は、次のものがあります。

- ・ 展覧会での作品掲示（作品交流）
- ・ 音楽会（練習）の見学
- ・ 学習発表会（練習）の見学
- ・ 「お楽しみ会」に参加
- ・ 朝の会や帰りの会に参加
- ・ 「子ども祭り」に参加
- ・ 球技大会に参加
- ・ 外国語活動や読み聞かせ、体育の授業に参加 等

また、本校のことや交流する児童・生徒を地域指定校の子どもたちや先生方に紹介する「理解推進授業」を、小・中学校合わせて3校実施（予定）しています。

同じ地域の子どもたち同士の関係づくりが行えるよう、地域指定校と協力しながら取り組んでいます。

